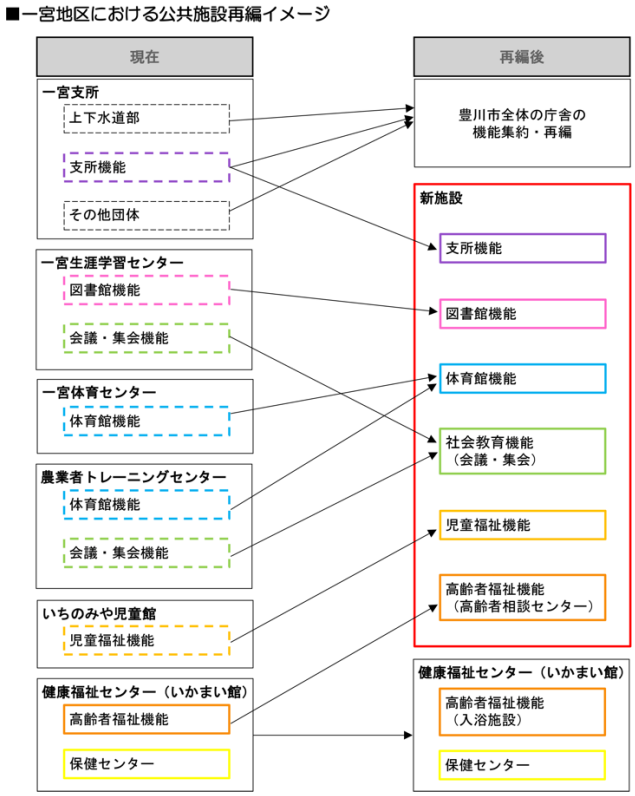
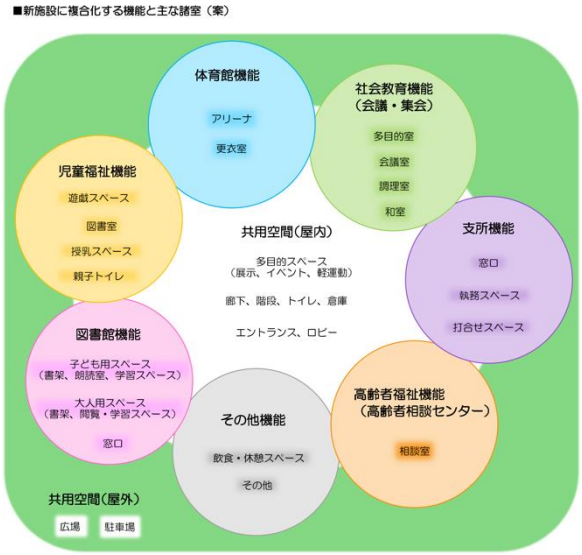
豊橋技術科学大学　　浅野　純一郎





（最左）一宮地区の再編パターンイメージ
（上）新施設の機能
（左）豊川市小坂井地区の「葵風館」

豊川市の公共施設再編事業

平成の大合併で 4 町を実質的に併合した豊川市では、各旧市町が保有していた公共施設の再編が課題となっている。同市では 2015 年 6 月に「公共施設適正配置計画」を策定し、その後、諏訪、小坂井、音羽、御津、一宮といった 5 つの市役所･支所所在地をモデル地区として、公共施設再編事業が進められている。第一弾は小坂井地区で、2021 年 5 月に地域交流会館「葵風館」が開館した。第二弾は一宮地区で、2020 年度から検討されてきた基本構想がこのほどまとまり、次年度には基本計画の策定へと進む予定である。再編においては対象施設の床面積（量）は削減されるのが原則である。しかし、機能の刷新と複合化によって地域住民の QOL（質）の向上に資することが肝要である。

【所属機関・連絡先】
豊橋技術科学大学　建築・都市システム学系　浅野純一郎
E-mail：asano@ace.tut.ac.jp